

せ ん

ぼ

通信

No.79

ば・あ・や・の・う・け・う・り

「ケアラー」

ケアラーとは、介護・看護が必要な家族を、自宅でお世話している人のことです。

昔から、奥さんや長男の奥さんが、あたり前にやってきたことですが、介護福祉の現場では介護する人「ケアラー」への支援も必要とされています。

祖父母の介護や、病気の親のお世話をしている10代の子供さんは「ヤングケアラー」で、なおのこと支援が重要ですね。

家族の在宅介護って…愚痴れないんです。大切な人の悪口を言うような…家の恥をさらすような…我慢できないダメ人間に思われそうな…とかで、自分の中にためてしまいます。毎日の事なので、それでは共倒れに…。

気をゆるして、本音で愚痴ったり…相談できる人が近くにいればラッキーです。そして、医師、包括支援センター、ケアマネジャーは、介護する人…「ケアラーさん」の健康状態もチェックしているので早めの相談を…。

高齢化社会は、他人事ではなく我が事、近所にケアラーさんがいたら、ちょっとの思いやり…小さな親切を…。

「中学校がなくなって、守山中に行っているんですね。守山中のジャージが干してあったので…私、守山中出身なんです」と、若い女性のお客さまが。あら、そうですか…二瀬中閉校してちょうど一年…スクールバスで通っていますよ。

不安は親の方もありましたけど、子供たちはたくましいですね。三年生で転校した生徒さんに、守山中に行って良かった？…と聞いたら、「ハイッ」と笑顔で…。「そうですか…良かったですね」。名前も知らないお客さまでしたが、ジャージ一枚からつながる先輩・後輩の心なのですね。

一年間だったけど、守山中での新しいお友達との出会いと、巣立ちの喜び。ご卒業…おめでとうございます。

「今日は、親孝行の日だったのです」

ん？…そんな日あったっけ？

「お母さんの誕生日だったので、一緒にちょっとお出かけして来たんです」 そっか…そっか…

子供の頃からお母さん思いだったTさん

「娘たちも、ばあちゃんのこと…大好きなんです」
って、昨年言ってたなあ…。

お母さんのR子ちゃんの、「うふふ…」というひかえめな笑顔がうかびます。

息子さん…孫さんは、長年頑張ってきた姿を理解しながら…大人になってきたのですね。

「オチャチャノ」と祖母の歌いしわらべうた
吾子から孫へ半世紀なり



「春一番」 (ツツジ)